

これを一人での生活を希望している人だけについてみると、経済的問題のみが全体の4割弱と多く、手助けの必要のみは2割、経済的問題と手助けの両方が理由の人は1.3割であった。一方同居のままが良い人では家族による手助けが必要なことが3.3割と、経済的問題の1割より多い理由となっていた（表5-4）。

4) 経済的状況

経済的自立（8章）に関して、1ヶ月あたりの収入を見ると、表6-1の通りで、0～5.9万円が全体の7.3%、6～9.9万円が26.8%、10～19.9万円が26.0%と、ここまでで全体の6割であった。20～29.9万円で9.2%と全体の7割を占め、30万以上は1割弱であった。（表6-1、2）

5) 政治・参加・司法・人権

「政治参加・司法・人権」（p9章）に関して、障害を理由とする人権侵害や差別的な扱いは、本人、家族ともに5割強で感じていた。本人回答例では就職・就労上の不利、教育上の不利、法的・制度的差別の順に多く、家族回答例では、教育、就職就労の順に多い結果であった（表7-1-1、2）。

また障害があるためにプライバシーを侵害されたと感じたことのある人が約3割であり、本人回答、家族回答とも地域社会で感じたことが最も多かった（表7-2-1、2）。

訴訟や裁判に関与したことのある人のうち、本人回答例で8.6%（64名／680+64名）、家族回答例で9.0%（13名／131+13名）が不利な扱いを受けていたと感じていた（表7-3-1～2）。

2. 機能障害

1) 多種類の機能障害

一人の人がもっている機能障害について、表8-1に示した項目を例示して調べた。その結果を、表8-1ではICFの心身機能の章毎にまとめて示しているが、一人の人が複数の、様々な機能障害をもつことが明らかとなった。

また、高次脳機能障害[1章]、痛み[2章]、感覚異常[2章]、代謝[5章]など、現在まだ法的に障害として認められていないものについても一定数それらを有する人が認められた。

2) 一人が持つ機能障害数

一人の障害者がどの位の数の機能障害をもつかをみると表8-2に示すように、単一の障害のみをもつ人は、視覚障害では7割弱であるが、全体では約3割にとどまる。

注目すべきことは、複数の障害をもつ人が多いことである。全員がもつ機能障害数を合計すると13,779個であり、回答者4,739名（4,919-180名）で、平均すると一人の人が2.9個の機能障害をもっていた（表8-1）。

3. 「活動」の長期的变化

長期的な数年単位の変化として「活動」のうち、「身の回りのこと」について、最近5年間の変化をみると、「悪くなっている」人が、「とても悪化」8.5%、「少し悪化」28.6%、合計37.1%と全体の3分の1以上を占め、特に高齢者（65歳以上）に多くみられた（表9-1～2）。

また本人はこの原因は病気の進行や新たな病気の合併だけでなく、「老化」によるものと考えている場合が多い（表9-3～4）。

4. 「人生の分かれ道」と「もっとわかって欲しいこと」

1) 「人生の分かれ道」：「あの時に専門家やまわりの人の働きかけがあったので、大きく変わった」と感じたことの回答を表 10 に ICF モデルの各要素に沿って分類し、またそのきっかけがプラスになったか、マイナスになったかという 2 つに分けてまとめて示した。

2) 「もっとわかって欲しいこと」「もっと世の人にもわかって欲しいこと」についての回答を同様に ICF モデルにもとづいてまとめたものを表 11 に示した。

D. 考察

以上の結果について、障害のある人に対する支援内容がどうあるべきかの観点を重視して検討してみたい。

1. 社会貢献について（仕事、他者への援助、等）

国連障害者権利条約は「障害のある人は現に大きな社会貢献をしており、一層大きな貢献をする可能性をもっている」としているが、今回の、他者への援助 [p 6 章] と仕事 [p 8 章] についてのデータも、このような障害者の社会貢献が大きいことを示している。

1) 他者への援助

前記のように、18~64 歳で育児が必要な場合には 9 割が何らかの関与をしており、65 歳以上で他者への介護が必要な場合には 6 割が関与していた。今後このような、障害者による「他者に対する援助」という「参加」をどう支援するかについても考え方を深めることが必要である。

これを「参加」の具体像である「活動」の観点からみると、「活動」への支援プログラム

の中での育児や介護技術の位置づけと、具体的な育児や介護技術の指導の重要さを示すものと考えられる。特に自分自身が機能障害をもち、介護が必要とする人が行う介護の技術については従来検討されておらず、今後の大課題である。

2) 仕事

身の回り行為や外出、公共交通機関利用に制限があっても仕事を活発にしている人が少なからずいることは、「身の回り行為ができなければ仕事ができない」というしばしば考えられやすいことが必ずしも正しくないことを示している。

これはまた、具体的な支援のあり方を考える際にも重要であり、身の回り行為に介護を受けていても、仕事をはじめとする「参加」レベルでは高い状態になりうることに十分留意した支援プログラムやシステムの必要性を示すものである。

3) 家族との関係

障害者権利条約では、障害者本人だけでなく、その家族の権利及び貢献をも重視している。これは家族の側からみると家族の権利と貢献であり、我々が提唱してきた「第 3 者の生活機能」に関するものができる。

(1) 介護者についての心配事

介護（手助け、促し）をしてくれている人についての心配事は全対象者の 3 分の 1 がもつており、その中で介護者が「年をとっていること」の不安が最も多いが、これは将来設計にも影響することである。これは、支援プランを立てる場合、その時点だけを考えるのではなく、その後の時間的経過もふまえた目標をもつてたてることの必要性を示すものといえよう。

また病気があること、障害があることの心配も少なくなく、これはその悪化・進行により本人自身への影響が生じる危険性をもつ。

これらは本人の生活機能と同時に、第3者としての家族自身の生活機能にも留意する必要性を示すものである。すなわち、本人の生活機能に影響する因子としての把握とともに、家族自身の生活機能向上への働きかけの必要性をも含めてみる必要があると考えられる。

(2) 家庭生活（家族）

現在の同居家族についてみると、配偶者、配偶者と子供、親、親と兄弟で、自宅生活者の中の6割であり、このことは核家族を単位とした支援のあり方を考える必要を示していると思われる。

一人での生活を希望している人は、比率としては、家族と同居中の人には限っても約1割と決して多くはなかった。しかし、一人での生活を希望している人の中でそれが困難な理由は、経済的問題のみ、ついで、ついで手助けの必要性が多く、一方同居のままが良い人でのその理由は手助け必要性、ついで経済的問題であり、これは介護や経済的支援を家族に求めていることの反映ともいえる。そのためこの点の解決については、本人の観点からだけではなく、家族を中心とした観点からもみることも必要と思われる。

4) 経済的状況

個人差が大きいといえるが、経済的な充実が求められる。この点も、前項で家族との同居理由について述べたように、本人のみの問題とはいはず、重要な環境因子である家族を含めて考えなければならない。

5) 政治・参加・司法・人権

障害を理由として、人権侵害や差別的な扱

いやプライバシーの侵害を受けていると感じる人が約3.5割、また訴訟や裁判での不利な扱いを受けたと感じている人が1割弱であった。そのような感じを与える扱い、対応等が全て偏見・差別の意図を持って行われているとは限らないが、そのように受け取られる可能性があることも含めて一般市民に啓発する必要がある。一般市民への啓発も支援内容としてきちんと位置づける必要があることを示すものであろう。

2. 多種類の機能障害

一人の人が様々な機能障害をもつ場合が多いことが明らかとなった。今回の結果は当事者本人の回答であり、もし専門家が診断・評価すればもっと多くの機能障害を診断できる可能性もある。また今回の調査でわかった複数の機能障害の中には、現在まだ法的に障害として認められていないものも一定数含まれていることも重要である。

これまで複数の機能障害がある場合、「重複障害」と呼ばれてきた。しかしそれの機能障害が別々にいわば「足し算」として表れている状態ではなく、むしろ別の新しい「かけ算」の状態として認識する必要がある。

そして支援も既存の個別障害に対する支援の「足し算」として行えばよいのではなく、新しい「かけ算」としてのあり方を考えいく必要があり、障害児・者への支援の新しい課題と考えられる。

また現在は、制度上で用いられる機能障害名が、その人の障害（生活機能低下）の状態のすべてを代表するかのように思われていることがよくある。このような「全体像」をみずには、ある障害名だけで判断されるために、適

切な支援が受けられなかつたり、同時に存在する他の障害への適切な対応が不十分になつたりしがちであることに配慮する必要がある。

このように多種類の機能障害が認められると、従来のように機能障害を基本とした障害の定義の仕方では障害のある人（参加制約、活動制限のある人）を規定することは困難と思われる。

しかし一方で機能障害を正確に把握することは、活動・参加を向上させるためにも重要であり、その低下予防・向上の機会を奪わないとためにもその正確な把握の重要性を認識する必要がある。

3. 「活動」の長期的変化

今回の調査で、特に高齢者において ADL（日常生活活動）の長期的低下がみられた。またその原因を「老化」と考えている場合が多いことが判明した。

ここで原因として考える必要があるのは、生活不活発病（廃用症候群）である。これは予防・改善できる障害であり、また「参加」や「活動」の低下から生じることが多い。これは高齢者の生活機能低下予防において重要な課題とされているが、今回の調査で障害者でもそれが明らかとなつた。

一般に「活動」・「参加」面の生活機能低下がある場合には、活動の「量」および「質」の低下が生じ易く、それによって生活不活発病による機能障害が生じやすく、それがさらに「活動」・「参加」を悪化させるという、「生活機能低下の悪循環」が起こりやすい。これは全年齢で起こりうるが、特に高齢者では生じ易くまた改善しにくくなる。すなわち、これまで「老化」と考えていたことが、実は生

活不活発病であること、また少なくともそれを合併している可能性を考える必要があるのである。

4. 「人生の分かれ道」「もっとわかって欲しいこと」

本調査での、この2つの自由記載項目への回答内容は非常に豊富であり、それらを ICFに基づいて整理したことで、支援内容の検討において有意義な内容が多く明らかになった。

E. 結論

国連障害者権利条約は「種々の面で障害のある人に関する『固定観念』を打破しなければならない」とし、その一つとして社会への貢献を強調しているが、今回の調査によってもこの点がかなりの程度に明らかになった。これは障害者の「参加」の意味をどう把握するかという点での重要なポイントである。

本調査では、この他にも支援内容に生かすべき内容が多く明らかになった。今回のように ICFに基づいて障害者（生活機能低下者）の生活の種々の側面を把握・整理することは、従来から指摘されてきたような問題・課題以外の新しい側面を発見し、見落としなく全体像をとらえるという点で非常に有効であると考えられる。

F. 健康危険情報

特になし

G. 研究発表

1. 学会発表

- ・大川弥生：ICF：人の“生活機能”をみるための共通言語；支援機器研究・開発のスト

ラテジー確立のために、第11回計測自動制御学会システムインテグレーション部門
2010年12月23日、仙台

- Yayoi Okawa, Satoshi Ueda, Katsunori Fujii, Kenji Shuto: Japan's Provisional Criteria for the Qualifiers of the Activity: The reconfirmation of validity and a further refinement based on a large-scale survey of people with disabilities. WHO-FIC Network Meeting, 18 October, 2011, Toronto, Canada
- Yayoi Okawa, Harumi Sekiguchi, Satoshi Ueda, Katsunori Fujii: Impairment Revisited: Multiplicity of impairments in a person, fatigability (b4552), and the great fluctuation of impairment. WHO-FIC Network Meeting, 18 October, 2011, Toronto, Canada
- Satoshi Ueda, Yayoi Okawa, Minako Kudo, Katsunori Fujii: The importance of satisfaction (subjective dimension) for a deeper understanding of the activity and participation as revealed by a large-scale survey of people with disabilities. WHO-FIC Network Meeting, 18 October, 2011, Toronto, Canada

2. 普及・啓発等

- 大川弥生：ICF（国際生活機能分類）に立った障害児・者実態調査で見えてきたこと；「ICFに基づく障害児・者の生活機能の実態調査」の結果から、内閣府障害者週間連続セミナー 2010年12月7日、東京
- 大川弥生：NHKラジオ第一、平成22年

- 12月7日 私も一言！夕方ニュース 外出しない障害者～心のバリアフリーをどう進めるか？～
- 大川弥生：NHK総合テレビ、平成22年12月7日 NHKニュース（夕方） 大規模障害者調査
- 大川弥生：NHKラジオ第一、平成22年12月8日 ラジオ深夜便：ニュース 大規模障害者調査
- 大川弥生：ICFの基礎から活用まで：大規模障害者調査を例にとって、厚生労働省 ICFシンポジウム 生活機能分類の活用に向けて 2011年1月22日、東京
- 大川弥生：ICF：人の「生活と健康」の見方・とらえ方の技術；「生きることの全体像」についての「共通言語」。デジタルヒューマン・シンポジウム 2011. 2011年3月3日、東京
- 大川弥生：「連携のツールとしてのICFの活用」。総合リハビリテーション研究大会 関連セミナー 2011年3月11日、東京

表1-1. 年齢×性別×機能障害種別(1)

	視覚		聴覚		肢体		心臓		腎臓		呼吸器		小腸		膀胱・直腸・ 嚙嚥		四肢		肢体+内部		その他身障	
	男	女	回答無	男	女	回答無	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
0~4歳	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	1
5~9歳	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.3%	9.1%	0.0%	2.0%
10~14歳	3	3	0	1	2	0	28	22	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2	1	1	2
15~19歳	1.2%	1.8%	0.0%	0.8%	2.9%	0.0%	3.9%	3.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.5%	5.4%	3.3%	4.5%	4.1%	2.0%
20~24歳	0	6	0	4	1	0	25	16	0	4	1	0	0	0	0	0	0	1	2	0	1	1
25~29歳	4	4	0	4	1	0	30	20	0	2	1	0	0	0	0	0	0	2	1	0	1	0
30~34歳	10	5	0	7	4	0	46	29	0	4	4	2	0	1	0	1	0	4	1	0	2	2
35~39歳	9	6	0	10	9	0	65	50	0	1	1	2	1	0	0	0	0	2	7	3.3%	9.1%	0.0%
40~44歳	17	6	0	8	9	0	63	31	0	1	2	5	3	0	2	1	0	4	1	0	2	2
45~49歳	21	10	0	16	4	0	54	30	0	3	0	8	5	0	1	1	2	5	4	1	0	3
50~54歳	27	13	0	16	5	0	59	42	0	1	1	12	5	0	3	1	1	3	1	1	0	6
55~59歳	39	25	0	16	10	0	58	49	0	2	1	10	4	3	4	1	1	2	5	4	1	5
60~64歳	37	27	0	19	6	0	66	60	0	9	2	14	4	3	7	2	3	2	3	1	3	4
65~69歳	42	32	0	8	4	0	65	74	0	1	4	17	5	1	16	6	4	2	1	4	6	3
70~74歳	26	16	0	3	1	1	59	50	0	12	2	9	1	10	13	16	1	3	1	3	2	5
80~84歳	2	0	0	1	0	1	0	18	31	0	2	3	1	0	6	16	2	1	0	2	3	0
85~89歳	9	8	0	2	2	0	37	48	0	4	6	2	11	9	5	2	0	2	1	1	3	5
90~94歳	0.4%	0.0%	0.0%	1.6%	2.9%	0.0%	5.1%	7.9%	0.0%	7.7%	13.3%	6.8%	6.1%	25.6%	13.5%	10.5%	0.0%	5.4%	3.3%	4.5%	6.1%	10.0%
95~100歳	3	3	2	2	1	0	1	5	4	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
年齢不明	256	165	2	126	69	1	724	609	5	52	30	88	33	43	78	37	19	40	37	30	22	49
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表1-1. 年齢×性別×機能障害種別(2)

		精神				知的				発達				知的+発達				肢体+精神				肢体+知的				肢体以外専門				高次脳機能	
		男	女	回答無	男	女	回答無	男	女	回答無	男	女	男	女	回答無	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
0~4歳	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
5~9歳	0	0	0	0	0	0	0	14	5	1	38	7	0	2	2	0	0	1	4	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	
10~14歳	1	0	0	0	25	14	0	44	17	1	10	2	0	0	11	9	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1		
15~19歳	0.2%	0.0%	0.0%	5.7%	4.7%	0.0%	22.9%	23.3%	50.0%	13.5%	11.8%	0.0%	0.0%	15.7%	14.3%	0.0%	6.7%	5.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.4%			
20~24歳	0.6%	1.4%	0.0%	10.8%	13.5%	0.0%	22.4%	30.1%	0.0%	31.1%	5.9%	0.0%	13.3%	15.7%	20.6%	0.0%	10.0%	15.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.3%		
25~29歳	1.7%	3.2%	0.0%	12.9%	11.1%	0.0%	13.0%	8.2%	0.0%	20.3%	23.5%	4.0%	0.0%	15.7%	11.1%	0.0%	20.0%	5.0%	0.0%	5.7%	16.7%	0.0%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
30~34歳	5.1%	5.5%	0.0%	10.3%	11.4%	0.0%	6.3%	2.7%	0.0%	9.5%	11.8%	16.0%	0.0%	8.6%	11.1%	0.0%	6.7%	5.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	14.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
35~39歳	10.0%	10.1%	0.0%	13.8%	11.4%	0.0%	5.7%	8.2%	0.0%	13.5%	0.0%	4.0%	26.7%	12.9%	6.3%	0.0%	6.7%	25.0%	0.0%	2.5%	14.3%	8.3%	14.8%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
40~44歳	19.2%	13.8%	0.0%	9.0%	8.4%	50.0%	1.0%	6.8%	0.0%	5.4%	5.9%	16.0%	13.3%	1.4%	7.9%	50.0%	1.0%	5.1	1	5	1	5	1	4	4	4	4	4	4	4	4
45~49歳	6.7%	23.0%	0	19	14	0	0	3	0	0	2	3	1	2	9	5	0	6	3	7	0	5	7	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
50~54歳	14.3%	10.6%	0.0%	4.4%	4.7%	0.0%	0.0%	4.1%	0.0%	0.0%	11.8%	12.0%	6.7%	2.9%	3.2%	50.0%	3.0%	20.0%	15.0%	20.0%	0.0%	18.5%	9.9%	9.9%	9.9%	9.9%	9.9%	9.9%	9.9%	9.9%	
55~59歳	10.9%	8.3%	0.0%	4.6%	4.7%	0.0%	0.5%	0.5%	0.0%	0.0%	4.0%	0.0%	4.0%	0.0%	4.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
60~64歳	34.7%	15.0%	0	9	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
65~69歳	14.3%	6.0%	0.0%	3.9%	4.0%	0.0%	0.5%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
70~74歳	1.3%	2.8%	0.0%	0.5%	3.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
75~79歳	1.5%	1.8%	0.0%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
80~84歳	2.0%	2.2%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
85~89歳	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
90~94歳	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
95~100歳	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
年齢不明	10.1%	1.8%	100.0%	1.4%	0.7%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	17	25	15	70	63	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	468	218	2	435	297	2	192	73	2	74	17	25	15	70	63	2	30	20	35	12	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		

表1-1. 年齢×性別×機能障害種別(3)

	てんかん(単独)			色覚障害			その他			合計		
	男	女	回答無	男	女	男	女	回答無	男	女	回答無	
0~4歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	6	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.3%	0.0%
5~9歳	0	0	0	0	0	0	4	2	0	84	40	2
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.3%	3.1%	0.0%	2.9%	2.0%	10.0%
10~14歳	1	0	0	0	0	0	3	4	0	139	83	1
	4.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.0%	6.2%	0.0%	4.8%	4.2%	5.0%
15~19歳	2	1	0	1	0	0	9	4	0	179	120	0
	9.5%	7.1%	0.0%	4.2%	0.0%	0.0%	12.0%	6.2%	0.0%	6.1%	6.1%	0.0%
20~24歳	2	0	0	1	0	0	3	5	0	169	95	0
	9.5%	0.0%	0.0%	4.2%	0.0%	0.0%	4.0%	7.7%	0.0%	5.8%	4.8%	0.0%
25~29歳	0	1	0	2	0	0	6	4	0	153	101	0
	0.0%	7.1%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%	8.0%	6.2%	0.0%	5.2%	5.1%	0.0%
30~34歳	4	2	0	2	0	0	8	6	0	240	135	0
	19.0%	14.3%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%	10.7%	9.2%	0.0%	8.2%	6.8%	0.0%
35~39歳	3	4	0	1	0	0	11	7	0	301	201	0
	14.3%	28.6%	0.0%	4.2%	0.0%	0.0%	14.7%	10.8%	0.0%	10.3%	10.2%	0.0%
40~44歳	3	0	0	3	0	0	8	3	0	268	140	2
	14.3%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	10.7%	4.6%	0.0%	9.2%	7.1%	10.0%
45~49歳	3	3	0	2	1	0	4	2	0	218	123	1
	14.3%	21.4%	0.0%	8.3%	100.0%	0.0%	5.3%	3.1%	0.0%	7.5%	6.2%	5.0%
50~54歳	1	2	0	2	0	0	4	2	0	217	123	0
	4.8%	14.3%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%	5.3%	3.1%	0.0%	7.4%	6.2%	0.0%
55~59歳	2	0	0	1	0	0	3	0	0	201	140	0
	9.5%	0.0%	0.0%	4.2%	0.0%	0.0%	4.0%	0.0%	0.0%	6.9%	7.1%	0.0%
60~64歳	0	0	0	4	0	0	4	1	0	221	163	0
	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	5.3%	1.5%	0.0%	7.6%	8.2%	0.0%
65~69歳	0	1	0	4	0	0	1	1	0	185	175	0
	0.0%	7.1%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	1.3%	1.5%	0.0%	6.3%	8.8%	0.0%
70~74歳	0	0	0	1	0	0	0	5	0	159	116	1
	0.0%	0.0%	0.0%	4.2%	0.0%	0.0%	2.7%	7.7%	0.0%	5.4%	5.9%	5.0%
75~79歳	0	0	0	0	0	0	0	1	0	93	91	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.7%	7.7%	0.0%	3.2%	4.6%	0.0%
80~84歳	0	0	0	0	0	0	2	6	0	43	62	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.3%	6.2%	0.0%	1.5%	3.1%	0.0%
85~89歳	0	0	0	0	0	0	0	2	0	14	26	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.1%	0.0%	0.0%	1.3%	0.0%
90~94歳	0	0	0	0	0	0	1	4	0	6	11	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.3%	6.2%	0.0%	0.2%	0.6%	0.0%
95~100歳	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	7	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.5%	100.0%	0.9%	1.0%	65.0%
年齢不明	0	0	2	0	0	0	1	1	2	27	20	13
	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.3%	1.5%	100.0%	0.9%	1.0%	65.0%
合計	21	14	2	24	1	75	65	2	2921	1978	20	13
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表2-1:「他者への援助」援助を必要とする同居家族×機能障害種別

	視覚	聴覚	肢体	心臓	腎臓	呼吸器	肢体 筋	肢体 筋 + 内部	その他 身障	精神	知的	発達	知的 + 精神	肢体 筋 + 知的 精神	肢体 筋 + 外身障 精神	高次脳 機能	難病	てん かん (単独)	色覚障害	その他	合計	
育児・介護を必要とする同居家族はない	267 102	6666 50	93 48	42 29	29 56	353 51	370 3%	171 55	21 51	69 60	0% 4%	60.4%	52.5%	51.1%	60.0%	66.0%	31 63	62 3%	18 48	16 64	2642 53.7%	
育児が必要な人がいる	6 10	37 4	2 4	0 2	0 0	4 11	12 4	21 3	0 0	2 1	0 0%	1.6%	7.9%	3.3%	0% 0%	1.5%	0% 2.1%	6 6.1%	0 0%	0 0%	0 0%	2 127 2.6%
介護が必要な人がいる	36 17	103 5	11 4	8 2	6 6	62 39	21 9	4 11	6 4	4 11	0 0%	5.3%	7.9%	9.9%	10.0%	8.1%	12.0%	8.5%	7.1%	13.5%	8.0%	7.7% 384
育児・介護が必要な人がともにいる	8.5% 1	8.7% 1	7.7% 2	6.1% 0	9.1% 0	9.1% 1	0 0	2 0	0 0	3 0	0 0%	1.8%	6.1%	3.8%	6.1%	0% 0%	1.1%	0% 0%	0 0%	0 0%	1 13 3%	
その他	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0%	0% 0%	0% 0%	0% 0%	0% 0%	0% 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	1 0% 0%	
一人暮らし	57 19	169 10	8 27	5 9	6 10	133 16	10 2	0 0	5 1	0 1	0 0%	11.5%	10.1%	19.3%	2.2%	7%	0% 0%	12.5%	7%	0% 0%	0 0%	0 0% 0%
入所・入院中	11 2.6%	3.6% 7	262 8	1 4	2 26	11 14	80 14	237 17	14 5	6 1	0 0%	21.2%	14.1%	21.2%	11.6%	32.3%	6.4%	15.4%	15.0%	26.7%	14.0%	4 5.1% 510
回答なし	45 10.6%	40 20.4%	99 7.4%	5 6.1%	5 5.0%	26 21.5%	0 0%	5 6.5%	4 6.5%	9 9.1%	47 6.8%	0 8.2%	12.0%	11.0%	10.0%	10.4%	14.0%	8.5%	7.1%	21.6%	0 0%	0 0% 800
合計	423 100.0%	196 100.0%	1338 100.0%	40 100.0%	99 100.0%	56 100.0%	77 100.0%	121 100.0%	52 100.0%	91 100.0%	40 100.0%	267 100.0%	734 100.0%	99 100.0%	125 100.0%	50 100.0%	47 100.0%	98 100.0%	40 100.0%	40 100.0%	37 100.0%	25 142 16.3%

表2-2:「他者への援助」:同居家族の育児・介護への関与×機能障害種別

		視覚	聴覚	肢体	心臓	腎臓	呼吸器	膀胱・直腸・小腸	視聴覚+	肢体+	その他の身障	精神	知的	発達	知的+	肢体+	肢体+	肢体以	脳機能	難病	てんかん(単独)	色覚障害	その他	合計		
不自由さなく、十分している	3 .7%	1 .5%	2 1%	1 1.2%	0 0%	1 .8%	1.8% 0%	1 0%	0 0%	1 1.0%	0 0%	2 3%	4 5%	1 0%	0 0%	0 1.5%	0 0%	0 0%	0 0%	4 4.1%	0 0%	4.1% 0%	0 0%	1 1.5%	25 5%	
不自由さを感じるが、十分している	10 2.4%	9 4.6%	20 3.7%	3 1.5%	1 1.7%	2 3.6%	1.7% 1.3%	1 0%	0 0%	0 1.9%	0 3%	13 1.9%	2 1.1%	0 0%	1 2.5%	3 7%	1 0%	1 2.1%	1 3.1%	0 0%	1 3.1%	0 0%	0 0%	0 0%	73 1.5%	
限られた範囲をしている	13 3.1%	8 4.1%	35 2.6%	2 2.4%	5 4.1%	4 3.3%	5 5.4%	3 0%	0 0%	5 5.1%	0 3.5%	24 1.5%	11 1.5%	1 1.1%	1 2.5%	1 1.5%	1 0%	2 2.1%	0 0%	1 1.0%	2 2.7%	0 0%	0 0%	4 4.0%	126 2.6%	
手助けをうけながらしている	13 3.1%	2 1.0%	26 1.9%	1 1.2%	2 1.7%	1 2.5%	0 0%	2 1.3%	0 1.3%	0 3.0%	0 1.9%	3 1.9%	8 2.2%	6 1.1%	1 2.5%	1 2.2%	1 0%	0 0%	1 1.0%	1 2.7%	1 1.0%	1 1.0%	1 2.1%	89 1.8%		
自分でしていない	4 3.6%	7 4.1%	55 4.1%	1 1.2%	3 2.5%	1 2.5%	3 1.8%	1 1.8%	1 2.5%	1 3.8%	1 2.0%	3 3.2%	6 3.7%	11 11.2%	0 11.0%	0 0%	4 6.7%	4 8.0%	3 6.4%	0 0%	2 5.4%	0 0%	0 0%	5 3.5%	196 4.0%	
小音	43 10.2%	27 13.8%	138 10.3%	8 9.8%	12 9.9%	72 10.7%	13 12.5%	7 10.4%	7 3.8%	7 11.1%	8 10.8%	7 7.1%	74 15.4%	41 13.2%	7 7.5%	7 12.6%	7 12.0%	4 8.0%	7 10.6%	7 12.2%	5 13.5%	2 8.0%	2 9.2%	13 10.3%	509 9.2%	
育児・介護などの援助必要なし	267 63.1%	102 52.0%	666 49.8%	50 61.0%	93 76.9%	48 75.0%	42 37.7%	29 55.8%	29 37.7%	29 75.0%	29 39.7%	56 42	55 14.1%	370 11.6%	171 32.3%	55 64.0%	21 50.4%	69 51.3%	31 51.1%	30 60.0%	31 66.0%	31 63.3%	18 48.6%	16 64.0%	18 64.0%	1642 53.7%
一人暮らし	57 13.5%	19 9.7%	169 12.6%	10 12.2%	8 6.6%	27 22.3%	5 8.9%	5 11.7%	6 11.5%	10 10.1%	8 19.3%	133 2.2%	10 2.2%	16 7%	0 7%	0 12.5%	0 0%	5 8.5%	0 11.2%	5 5.4%	2 5.4%	7 28.0%	9 6.3%	2 10.4%	510 800	
入所・入院中	11 2.6%	7 3.6%	262 19.6%	8 9.8%	1 3.3%	4 3.6%	2 33.8%	11 21.2%	26 14.1%	11 14.1%	80 11.6%	237 32.3%	17 6.4%	14 15.4%	6 15.0%	36 12.5%	7 26.7%	3 14.0%	3 6.4%	5 5.1%	4 10.8%	3 5.4%	4 0%	5 31.7%	800 16.3%	
回答なし	45 10.6%	41 20.9%	103 7.7%	6 7.3%	29 5.8%	121 24.0%	4 0%	5 6.5%	4 7.7%	8 8.1%	7 7.0%	48 8.0%	59 13.5%	36 11.0%	10 12.5%	5 8.9%	12 18.0%	9 12.5%	4 8.5%	9 8.2%	4 21.6%	8 0%	8 0%	11 7.7%	458 9.3%	
合計	423 100.0%	196 100.0%	1338 100.0%	82 100.0%	121 100.0%	56 100.0%	77 100.0%	52 100.0%	99 100.0%	99 100.0%	99 100.0%	688 100.0%	734 100.0%	267 100.0%	91 100.0%	40 100.0%	135 100.0%	50 100.0%	47 100.0%	98 100.0%	37 100.0%	25 100.0%	142 100.0%	4919 100.0%		

表2-3-1:「他者への援助」:援助を必要とする同居家族×育児・介護への関与

表2-3-2:「他者への援助」:援助を必要とする同居家族×育児・介護への関与(18~64歳)

		う手	う手	自	自	一	入	回	合
		に助	け助	分	はな	人	所・入	答	計
		るが	がさ	いは	はな	事ら	中	なし	
育児・介護を必要とする同居家族はない	十分自分でできるが、範囲を広げると限らない	0	0	0	0	1752	0	0	1752
育児が必要な人がいる	8.6%	34.3%	27.1%	18.6%	11.4%	0%	0%	0%	100.0%
介護が必要な人がいる	4.6%	11.5%	26.7%	16.4%	35.5%	0%	0%	0%	100.0%
育児・介護が必要な人がともにいる	0.0%	16.7%	16.7%	0%	33.3%	0%	0%	5.3%	100.0%
一人暮らし	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	368	0	368
入所・入院中	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	630	0	630
回答なし	0.0%	0.4%	2.1%	3.3%	0%	0%	0	94.2%	100.0%
合計	18.5%	55.1%	2.7%	1.8%	3.3%	52.6%	11.1%	18.9%	7.3% 100.0%

表2-3-3 「他者への援助」：援助を必要とする同居家族×育児・介護への関与(65歳以上)

	不十分自分でできるが、いなくなる	十分自分でできるが、いなくなる	自分で助けられない範囲を	う手で助けられないがをら	自分で助けられないはい	の育児・介護・必要護など	人暮らし	入所・入院中	回答なし	合計
育児・介護を必要とする同居家族はない	0% 0%	0% 0%	0% 0%	0% 0%	0% 0%	525 100.0%	0% 0%	0% 0%	0% 0%	525 100.0%
育児が必要な人がいる	4.6% 18.2%	12.6% 27.3%	27.6% 0%	17.2% 0%	24.1% 36.4%	0% .0%	0% .0%	0% .0%	18.2% 0%	11 100.0%
介護が必要な人がいる	0% 0%	0% 0%	50.0% 50.0%	25.0% 25.0%	1% 0%	0% 0%	0% 0%	0% 0%	13.8% 0%	87 100.0%
育児・介護が必要な人がともにいる	0% 0%	0% 0%	0% 0%	0% 0%	0% 0%	0% 0%	0% 0%	0% 0%	0% 0%	4 100.0%
一人暮らし	0% 0%	0% 0%	0% 0%	0% 0%	0% 0%	137 100.0%	0% 0%	0% 0%	0% 0%	137 100.0%
入所・入院中	0% 0%	0% 0%	0% 0%	0% 0%	0% 0%	0% 0%	119 100.0%	0% 0%	0% 0%	119 100.0%
回答なし	0% 0%	0% 0%	0% 1.9%	2% .9%	1% .9%	0% .0%	0% 0%	0% 0%	97.2% 100.0%	106 100.0%
合計	4% 1.3%	13% 2.9%	29% 1.8%	18% 2.7%	53.1% 52.5%	13.9% 13.7%	12.0% 11.9%	11.8% 11.7%		989

表3-1-1 「仕事」:現在の仕事の状況×機能障害種別

	視覚	聴覚	肢体	心臓	腎臓	呼吸器	脳	筋肉 + 筋膜 + 筋肉 内部	その他 身障	精神	知的	発達	肢体 + 知的 精神	肢体 + 精神	肢体 + 精神 外身障 + 知的	高次脳 機能	難病	てん かん (単独)	色覚 障害	その他	合計		
1 不自由さはなく、活発に仕事をしている	66 47	120 11	25 7	10 2	6 11	150 137	10 6	6 5	10 5	10 5	10 5	10 6	10 6	10 5	10 5	10 5	10 9	13 9	17 13	12.0%	12.0%	683	
2 不自由さを感じるが、活発に仕事をしている	86 45	130 8	26 2	6 4	9 9	63 27	7 1	3 7	10 3	10 3	10 3	10 2	10 2	10 2	10 2	10 2	10 2	14 6	4 6	4 4	4 4	463	
3 限られた範囲の仕事を、している	63 17	144 3	12 4	0 0	5 5	8 110	88 16	5 5	6 6	15.0% 15.0%	11.5% 11.5%	21.8% 21.8%	18.7% 18.7%	3.7% 3.7%	15.0% 15.0%	15.0% 15.0%	15.0% 15.0%	14.3% 14.3%	16.2% 16.2%	16.0% 16.0%	2.8% 2.8%	2.8% 2.8%	9.4% 9.4%
4 手助けを受けながら、している	53 14.9%	23 8.7%	5 3	22 12	114 114	152 22	19 19	4 4	26 26	11 11	8 8	9 9	9 9	9 9	9 9	9 9	9 9	0 0	30 30	30 30	772		
4 + 5	6 1.4%	26 1.4%	1 0	0 0	7 0	8 16	16 8	1 1	12 12	7 7	3 3	2 2	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	8 193	
5 促しをうけながら仕事をしている	2 5%	25 1.0%	1 0	0 0	9 1.2%	8 1.9%	8 1.9%	2.3% 2.3%	9.5% 9.5%	6 0% 6 0%	8.8% 8.8%	2.5% 2.5%	8.9% 8.9%	14.0% 14.0%	6.4% 6.4%	2.0% 2.0%	0% 0%	0% 0%	0% 0%	5.6% 5.6%	0% 0%	3.9% 3.9%	
6 主婦・主夫業が仕事	40 9.5%	13 6.6%	7 7.8%	5 8.5%	5 5.0%	14.0% 8.9%	14.0% 8.9%	1.3% 1.9%	1.9% 1.9%	3 3	22 22	83 16	17 17	0 0	10 10	4 4	2 2	0 0	2 2	0 0	7 7	198	
7 定年後、仕事をしていない(就労経験あり)	26 6.1%	20 10.2%	84 6.3%	15 18.3%	23 16.5%	19 19.0%	33.9% 33.9%	6.5% 6.5%	5.8% 5.8%	3 3	11 11	14 14	2 2	0 0	1 1	0 0	2 2	10 10	1 1	0 0	2 2	241	
仕事をしていない(就労経験なし)	40 9.5%	172 12.9%	11 13.4%	13 10.7%	8 14.0%	14.3% 14.3%	14.3% 14.3%	10.7% 10.7%	19.2% 19.2%	11 10	18 18	145 26	4 4	2 2	14 14	5 5	2 2	10 10	1 1	0 0	2 2	236	
現在学生・就学前	16 3.8%	175 1.5%	11 13.4%	9 7.4%	37 30.6%	16.1% 10.4%	17.3% 10.4%	7.1% 5.5%	5.5% 2.3%	9 4	6 6	128 169	32 32	2 2	48 48	10 10	0 0	14.3% 14.3%	10.8% 10.8%	4 4	1 1	24 24	
回答なし	9 2.1%	15 7.7%	9 8.7%	2 11.0%	0 1.7%	0 0%	0 5.2%	11.5% 5.1%	5.1% 9%	0 4	5 3	1 1	0 0	1 1	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	6 6	43	
合計	423 100.0%	1338 100.0%	82 100.0%	121 100.0%	56 100.0%	77 100.0%	121 100.0%	100.0% 100.0%	100.0% 100.0%	99 40	267 91	734 135	50 50	47 47	98 98	37 37	25 25	142 142	4919 4919	100.0% 100.0%	100.0% 100.0%	100.0% 100.0%	

表3-1-2-1. 「仕事」現在の仕事の状況×機能障害種別(18~64歳)

	視覚	聴覚	肢体	心臓	腎臓	呼吸器	脳	脳・筋肉	脳・筋肉	脳・筋肉+内部	その他	精神	知的	発達	知的+癡達	肢体+精神	肢体+知的	肢体+外身障	高次脳機能	難病	てんかん(単独)	てんかん色覚異常	その他・不明	合計
1 不自由さはない、活発に仕事をしている	46	43	99	8	19	3	10	138	128	10	5	5	4	10	10	8	12	15	591					
2 不自由さを感じるが、活発に仕事をしている	66	44	103	7	19	6	1	5	59	25	7	1	3	6	1	2	14	6	4	4	4	4	392	
3 限られた範囲の仕事を、していいる	43	17	116	2	7	1	0	5	4	7	102	84	16	5	6	6	7	4	8	2	0	10	452	
4 手助けを受けながら、している	41	20	201	4	5	3	0	19	2	4	105	139	22	19	4	26	10	8	8	7	0	28	675	
4 + 5	5	1	26	1	0	0	0	7	1	8	16	68	16	8	1	12	7	3	2	0	0	0	7	189
5 促しきをうながら仕事をしていいる	1	2	24	1	0	0	0	11.7%	4.8%	13.3%	2.6%	11.6%	14.0%	12.7%	2.8%	13.3%	17.9%	6.8%	2.9%	.0%	.0%	8.3%	5.7%	
6 主婦・主夫業が仕事をしていいる	24	6	41	3	5	3	2	0	8	12	2	0	0	1	0	10	4	2	0	2	0	0	6	187
7 定年後、仕事をしていない	4	12	11	3	5	1	3	0	1	1	3	18	80	15	17	0	10	4	2	0	2	0	0	6
仕事をしていない(就労経験あり)	20	4	95	6	11	7	3	9	5	8	122	23	2	2	13	4	2	14	19	3	0	6	378	
仕事をしていない(就労経験なし)	6	1	80	2	5	6	1	7	3	33	13	6	1	3	14	1	1	0	1	0	1	0	47	
現在学生・就学前回答なし	4	3	13	2	0	0	0	0	0	0	2	18	19	5	0	7	1	0	1	2	0	1	78	
合計	267	154	815	39	76	30	18	60	21	60	613	584	114	63	36	90	39	44	70	32	19	84	3328	

表3-1-2-2.「仕事」:現在の仕事の状況×機能障害種別(65歳以上)

	視覚	聴覚	肢体	心臓	腎臓	呼吸器	四肢 直腸・ 小腸	肢体十 肢体 内部	その他の 身障	精神	知的	肢体十 精神	肢体十 知的	肢体十 外身障 +知的	脳体以 高次脳 機能	難病	てんか ん(单 独)	色覚障 害	その他・不 明	合計	
1 不自由さはなく、活発に仕事をしている	19 14.0%	3 11.5%	18 4.4%	3 8.3%	14.3% 4.4%	4.4% 5.4%	2 0%	0 12.5%	3 3.0%	16.7% 26.7%	50.0% 0%	1 0%	0 100.0%	0 0%	0 0%	1 100.0%	0 20.0%	1 20.0%	2 6.5%	82 8.3%	
2 不自由さを感じるが、活発に仕事をしている	20 14.7%	1 3.8%	25 6.1%	1 2.8%	16.7% 2.2%	2.2% 9.1%	7 1	1 1	3 3.0%	2 5.6%	6.7% 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 6.8%	
3 限られた範囲の仕事を、している	19 14.0%	0 0%	28 6.8%	1 2.8%	9.5% 3.3%	3.3% 0%	4 0%	0 4.2%	1 3.0%	7.4% 7.4%	6.7% 0%	2 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	1 64	
4 手助けを受けながら、している	11 8.1%	2 7.7%	27 6.6%	1 2.8%	7.1% 5.5%	8.1% 9.1%	3 1	1 4.2%	8 24.2%	5.6% 30.0%	30.0% 0%	3 0%	9 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 3.2%	75 7.6%	
4 + 5	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	1 64	
5 促しきをうけながら仕事をしている	0 .0%	0 .0%	0 .2%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	1 75	
6 主婦・主夫業が仕事をしている	15 11.0%	7 26.9%	63 15.4%	4 11.1%	2.4% 15.4%	8.1% 8.1%	1 0%	14 12.5%	3 9.1%	3.7% 3.7%	0% 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 100.0%	0 35.7%	0 35.7%	0 0%	0 0%	1 124
7 定年後、仕事をしていない	22 16.2%	8 30.8%	73 17.8%	12 33.3%	15 35.7%	22 43.2%	15 45.5%	16 8.3%	5 18.2%	2 3.7%	0 0%	2 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 7.1%	0 0%	0 0%	0 6.5%	189 19.1%
仕事をしていない (就労経験あり)	19 14.0%	3 11.5%	77 18.8%	5 13.9%	4.8% 11.0%	10.8% 18.2%	2 20.8%	10 27.3%	9 38.9%	2 6.7%	1 50.0%	1 33.3%	1 0%	1 0%	1 0%	0 0%	0 21.4%	0 0%	0 0%	0 0%	1 165
仕事をしていない (就労経験なし)	10 7.4%	2 7.7%	94 22.9%	9 25.0%	4 9.5%	34.1% 21.6%	4 9.1%	31 25.0%	8 12.1%	1 9.3%	10.0% 0%	5 0%	3 33.3%	3 0%	3 0%	1 0%	0 35.7%	0 0%	0 0%	0 20.0%	201 20.3%
回答なし	1 .7%	0 .0%	4 1.0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 0%	0 0%	1 9.1%	0 0%	1 1.9%	0 0%	1 0%	1 33.3%	1 0%	1 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 16.1%	13 1.3%
合計	136 100.0%	26 100.0%	410 100.0%	36 100.0%	95 100.0%	34.1% 100.0%	42 100.0%	91 100.0%	37 100.0%	11 100.0%	24 100.0%	33 100.0%	54 100.0%	30 100.0%	2 100.0%	3 100.0%	1 100.0%	2 100.0%	1 100.0%	5 100.0%	31 100.0%

表3-1-3-1.「仕事」・問1. 現在の仕事の状況×機能障害種別(男女別・18~64歳)(1)

	視覚				聴覚				肢体				心臓				腎臓				呼吸器				膀胱・直腸・小腸				膀胱・直腸・小腸				視覚+肢体				肢体+内部				その他身障				精神			
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女										
1 不自由さはなく、活発に仕事をしている	33	13	34	9	63	36	5	3	14	5	0	3	5	2	0	1	2	6	4	102	4	36	36	33.3%	17.3%	13.2%	10.7%	18.5%	25.0%	25.9%	22.7%	0.0%	15.8%	37.5%	50.0%	6.1%	0.0%	6.7%	33.3%	23.1%	11.8%	23.9%	19.3%					
2 不自由さを感じるが、活発に仕事をしている	49	17	30	14	66	37	6	1	16	3	4	2	1	0	2	3	0	1	6	2	50	9	29.2%	17.2%	29.4%	26.9%	13.8%	11.0%	22.2%	8.3%	29.6%	13.6%	36.4%	10.5%	12.5%	0.0%	6.1%	11.1%	0.0%	16.7%	23.1%	5.9%	11.7%	4.8%				
3 限られた範囲の仕事を、している	29	14	9	8	79	37	1	1	6	1	1	0	0	0	0	0	2	3	4	0	6	1	70	32	17.3%	14.1%	8.8%	15.4%	16.5%	11.0%	3.7%	8.3%	11.1%	4.5%	9.1%	0.0%	0.0%	6.1%	11.1%	26.7%	0.0%	23.1%	2.9%	16.4%	17.1%			
4 手助けを受けながら、している	27	14	14	6	119	82	3	1	3	2	0	3	0	0	0	0	10	9	1	1	2	2	60	45	16.1%	14.1%	13.7%	11.5%	24.9%	24.3%	11.1%	8.3%	5.6%	9.1%	0.0%	15.8%	0.0%	30.3%	33.3%	6.7%	16.7%	7.7%	5.9%	14.1%	24.1%			
4 + 5	3	2	1	0	18	8	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	4	1	0	2	6	10	6	1.8%	2.0%	1.0%	0.0%	3.8%	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	9.1%	14.8%	6.7%	0.0%	7.7%	7.7%	17.6%	2.3%	3.2%				
5 促しうけながら仕事をしている	1	0	1	1	18	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2	1	13	5	0.6%	0.0%	1.0%	1.9%	3.8%	1.8%	3.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	7.7%	2.9%	3.1%	2.7%
6 主婦・主夫業が仕事を定年後、仕事をしていない	3	21	0	6	1	40	1	2	1	4	0	3	0	2	0	2	0	0	0	0	0	8	4	1.8%	21.2%	0.0%	11.5%	0.2%	11.9%	3.7%	16.7%	1.9%	18.2%	0.0%	15.8%	0.0%	20.0%	0.0%	7.4%	0.0%	0.0%	0.0%	23.5%	0.9%	4.3%			
7 定年後、仕事をしていない	1	3	9	3	9	2	3	0	4	1	0	1	2	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	2	1	0.6%	3.0%	8.8%	5.8%	1.9%	0.6%	11.1%	0.0%	7.4%	5.3%	25.0%	10.0%	0.0%	0.0%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%	2.9%	0.5%	0.5%		
仕事をしていない (就労経験あり)	13	7	2	2	47	48	3	3	9	2	5	2	1	2	6	3	5	0	2	6	2	6	85	37	7.7%	7.1%	2.0%	3.8%	9.8%	14.2%	11.1%	25.0%	16.7%	9.1%	45.5%	10.5%	12.5%	20.0%	18.2%	11.1%	33.3%	0.0%	7.7%	17.6%	20.0%	19.8%		
仕事をしていない (就労経験なし)	2	4	0	1	47	33	2	0	1	4	1	5	1	0	6	1	2	1	0	1	0	3	27	6	1.2%	4.0%	0.0%	1.9%	9.8%	7.4%	0.0%	1.9%	18.2%	9.1%	26.3%	12.5%	0.0%	18.2%	3.7%	13.3%	16.7%	0.0%	8.8%	6.3%	3.2%			
現在学生・就学前	2	2	2	1	9	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1.2%	2.0%	2.0%	1.9%	1.9%	1.2%	7.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%						
回答なし	5	2	0	1	2	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	2	1	3.0%	2.0%	0.0%	1.9%	0.4%	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%	3.0%	7.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%	0.5%				
合計	168	99	102	52	478	337	27	12	54	22	11	19	8	10	33	27	15	6	26	34	426	187	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%					

表3-1-3-1.「仕事」:問1.現在の仕事の状況×機能障害種別(男女別・18~64歳)(2)

	知的		発達		知的+癡連		肢体+精神		肢体+知的		肢体以外身体+知的		高次脳機能		難病		てんかん(単独)		色覚障害		
	男	女	回答無	男	女	男	女	回答無	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
1 不自由さはなく、活動に仕事をしている	81	47	0	7	3	4	1	3	2	0	3	1	7	3	5	5	5	3	11	1	
2 不自由さを感じるが、活動に仕事をしている	13	12	0	2	5	1	0	1	2	4	2	0	1	1	4	10	3	3	4	0	
3 眼られた範囲の仕事を、している	44	40	0	14	2	3	5	1	4	2	0	3	4	3	1	1	7	2	0	0	
4 手助けを受けながら、している	85	53	1	16	6	18	1	4	0	9	17	0	5	5	7	1	1	7	4	3	0
4 + 5	37	31	0	11	5	4	4	1	0	4	8	0	5	2	1	1	0	2	0	0	0
5 促しきをうけながら仕事をしている	50	30	0	9	6	15	2	0	0	9	1	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0
6 主婦・主夫業が仕事をしている	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	5	0	1	0	0
7 定年後、仕事をしていない	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
8 仕事をしていない(就労経験あり)	14	9	0	2	0	1	1	8	5	3	1	0	2	0	12	2	3	16	2	1	0
9 仕事をしていない(就労経験なし)	9	4	0	3	1	0	2	1	7	5	2	1	0	0	1	0	2	0	0	2	0
現在学生・就学前	8	10	0	15	4	5	0	0	4	3	0	0	1	0	0	1	0	2	0	0	0
回答なし	1	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0
合計	343	240	1	79	35	51	12	25	11	47	41	2	24	15	34	10	15	55	20	12	18
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表3-1-3-1 「仕事」問1 現在の仕事の状況×機能障害種別(男女別・18~64歳)(3)

	その他・不明					合計
	男	女	男	女	回答無	
1 不自由さはないが、活発に仕事をしている	9 17.0%	6 19.4%	402 19.5%	189 14.9%	0 0.0%	0
2 不自由さを感じるが、活発に仕事をしている	4 7.5%	0 0.0%	0 13.0%	268 9.8%	124 0.0%	0
3 限られた範囲の仕事を、している	4 7.5%	6 19.4%	289 14.0%	163 12.9%	0 0.0%	0
4 手助けを受けながら、している	17 32.1%	11 35.5%	405 19.7%	269 21.2%	1 33.3%	1
4 + 5	3 5.7%	4 12.9%	4 5.1%	105 6.6%	84 0.0%	0
5 促しがうけながら仕事をしている	5 9.4%	1 3.2%	1 6.4%	131 4.4%	56 0.0%	0
6 主婦・主夫業が仕事	0 0.0%	0 0.0%	0 0.5%	0 8.3%	105 0.0%	0
7 定年後、仕事をしていない	0 0.0%	0 0.0%	0 1.6%	0 1.1%	33 1.1%	0
仕事をしていない (就労経験あり)	4 7.5%	2 6.5%	229 11.1%	149 11.8%	0 0.0%	0
仕事をしていない (就労経験なし)	6 11.3%	1 3.2%	120 5.8%	75 5.9%	2 66.7%	2
現在学生・就学前	1 1.9%	0 0.0%	0 2.5%	52 2.1%	26 0.0%	0
回答なし	0 0.0%	0 0.0%	0 0.6%	12 1.1%	14 0.0%	0
合計	53 100.0%	31 100.0%	2057 100.0%	1268 100.0%	3 100.0%	3

春3-1-3-2、「住事」[問1]現在の住事の状況×機能障害種別(男女別・65歳以上)(1)